

6月10日(月)

「入学式に一年生に話した、大きなかぶのお話」

校長 杉浦 芳則

おはようございます。

今日は、校長先生が一年生の入学式に話した「大きなかぶ」のお話をします。このお話は、誰もが知っていることだと思いますが、どんな意味があると思いますか。

甘くて大きなかぶに育ててほしいと、おじいさんが願いを込めて植えたかぶが、思い通りに大きく育ちました。ところが、その大きなかぶを、おじいさん一人で抜こうとしましたが、あまりにも大きかったために、おじいさん一人では抜けませんでした。そこで、おじいさんは、おばあさんに手伝ってもらいましたが、それでも抜けず、孫、犬、猫、鼠と順に手伝ってもらい、ようやくかぶが抜けたというお話です。

このお話のように、保護者や先生方は、みんながこのお話のかぶのように、大きく立派に育ててほしいと思っています。そして、おじいさん、おばあさん、孫、犬や猫、鼠が協力し合ったように、いろいろな人と仲良く、助け合ってほしい。クラス、学校の仲間と仲良く、協力し合っていますか？けんかやいじめはないでしょうか。ぜひ、困っている人がいたら、この「大きなかぶ」のお話を思い出して、みんなで協力して、助けてあげてください。本郷小学校の人たちが、全員、大きく成長することを望んでいます。